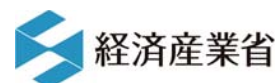


平成23年度 第5回  
製品安全対策優良企業表彰



# 受賞企業紹介



## 2011 製品安全対策優良企業

経済産業省では、製品安全対策優良企業を表彰しています。

経済産業省では、製品安全に積極的に取り組んでいる企業を企業単位で公募し、厳正な審査の上、該当企業には、「製品安全対策優良企業」として表彰を行っています。表彰を通じて、製品安全に対する意識の向上と製品安全文化の定着を図り、持続的に製品安全が確保されるような安全・安心な社会を作ることを目的としています。

■製品安全対策優良企業表彰事務局 Tel:03-5288-6583

## ご挨拶

製品安全対策に積極的な企業を公募、審査し、表彰する本事業は、節目の5回目を迎えました。この5年の間に、様々な業種・業態の企業の審査に携わってきましたが、多くの企業は、大なり小なり製品事故を経験していました。しかし、事故による苦難を乗り越えてきた企業は、安全に対する信念が組織で生まれ、強固な体制・仕組みが築かれているように感じます。もちろん無事故を継続している企業は素晴らしいのですが、世の中に「絶対安全」は存在せず、どんなに努力しても必ずしも事故はゼロにならないでしょう。大切なことは、「事故による試練をみんなで乗り越えよう」と真摯に懸命に成し遂げることや、「事故の経験を将来に活かそう」という姿勢・考えを組織に定着することだと思います。

この表彰制度では、製品そのものの安全性を確保するための取り組みはもとより、リスクコミュニケーションや製品安全文化構築の取り組みなどについても審査しています。昨年の震災を経て、「情報公開の迅速さ」や「情報の信頼性」など、リスクコミュニケーションの大切さを考え直した方も多くでしょう。また、「安全にはお金を払う」とか「自分の身は自分で守る」といったように、安全に対する消費者の価値観・意識も変化しているのではないかと思います。安全の価値が改めて見直されている中で、自社の安全に関する理念や取り組みについて、あらためて振り返ってみるのも有意義ではないでしょうか。

安全の価値を大切にす企業が社会から評価されるような「製品安全文化」の普及・定着に向けて、この表彰制度が発展していくことを願っています。

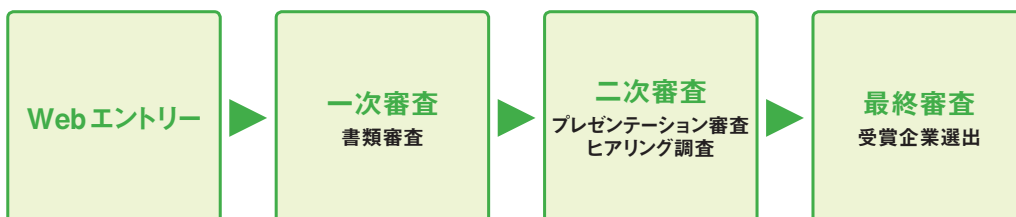
製品安全対策優良企業表彰 審査委員長 向殿 政男  
(明治大学 理工学部情報科学科 教授)

## 製品安全対策優良企業表彰の概要

本年度の審査は、書類審査、プレゼンテーション審査、ヒアリング調査で構成しました。一次審査は、申請用紙（「製品安全活動記述シート」）による書類審査を行いました。書類審査では、「安全な製品を製造（仕入れ・販売）するための取り組み」「製品を安全に使用してもらうための取り組み」「出荷後に安全上の問題が判明した際の取り組み（事故やリコール等が起きた際の取り組み）」「製品安全文化構築への取り組み」という4つの評価の視点による設問により、企業の製品安全に関する取り組みについて評価しました。応募企業の業種は、家電、日用品、住宅設備機器、衣料品など多岐にわたりました。

二次審査では、一次審査を通過した企業を対象として、プレゼンテーション審査を行いました。プレゼンテーション審査では、各社が特にアピールしたい製品安全に関する取り組みを紹介していただきました。また、プレゼンテーション審査で紹介していただいた取り組み内容を確認するため、審査委員が各社に訪問し、ヒアリングを実施しました。

最終審査では、プレゼンテーション審査とヒアリング調査の結果を基に協議を行い、最終的に受賞企業11社を選出するに至りました。



## 経済産業大臣賞

大企業 製造事業者・輸入事業者部門  
レノボ・ジャパン株式会社<http://www.lenovo.com/jp/ja/>

- 事業内容：パーソナルコンピュータ、サーバー、ワークステーション及び周辺機器の製造、販売
- 所在地：東京都港区(本社)
- 設立：2005年(平成17年)4月28日 ■代表者：代表取締役社長 ロードリック・ラビン
- 従業員数：約700名[2010年6月現在、単体]

## 受賞企業コメント

レノボ・ジャパンの主力商品であるノートブックPC「ThinkPad」は、1992年に誕生して以来、全世界の法人向けノートブックPC開発の責任を担う大和研究所にて、日本のエンジニアにより研究開発されています。

ノートブックPCには、満員電車などでの強い圧迫、持ち歩きに伴う大小の振動、落下などによる強い衝撃など、過酷な状況に耐えてどのようなビジネスシーンでも安心して使用できる品質が必要となり

ます。お客様の大切なデータを守るため、大和研究所では200を超える過酷なテストを行い、その堅牢性をチェックしております。この厳しい品質評価テストはそこまでする必要のあるのだろうかと思える程、毎年見直しを行っております。そして、この探求心により世界で認められている堅牢性と信頼性を実現できると確信しております。今回の受賞を通し、さらなる堅牢性と信頼性の向上を目指し製品安全活動に取り組んでまいります。

## 受賞ポイント

## 1 製品を安全に設計・製造するための仕組みの構築・運用

お客様の実際の使用方法・環境を踏まえた自社独自の安全基準・試験基準を策定。開発・設計・製造など各段階に製品安全技術者を置くなど、厳格なレビュープロセスの仕組みを構築し運用。



社内の試験施設の様子

## 2 お客様の声を収集して、自社製品・サービスの改善を実施

第三者(外部のアンケート業者)に委託し、出張修理などのサービス対応後にお客様の意見を収集する取り組みを継続的に実施。評価結果を分析し、自社製品・サービスの改善に努めている。

## 3 取引先の意見を収集し、製品の安全性を改善

取引先に対して、自社の試験所の見学会を実施するなど、積極的に外部意見を収集して、製品の安全性を改善。

## 担当者のことば

ThinkPad 製品は世界で最も厳しい品質要求を持つ市場である日本で長期にわたって開発されてきた経験と知識が盛り込まれており、その製品安全性も非常に優れているものと自負してきました。このプログラムの存在を知った際に、この認識が本当に正しいか否かを客観的な基準で評価していただけるのではないかと考え、メンバーを募って応募しました。経済産業大臣賞という栄誉ある賞をいただいて、自分たちが市場に送り出している製品への自負が正しかったことを確認でき、非常に嬉しい気持ちで一杯です。また、審査を通していただいた御意見や御指摘は、弊社の製品安全への対策において社内の人間だけでは気付き得ないもので、今後の改善に向けての貴重な財産になったと感謝しています。



# 商務流通審議官賞

大企業 製造事業者・輸入事業者部門

ソニー株式会社  
 コンシューマプロダクツ&サービスグループ  
 VAIO&Mobile 事業本部

<http://www.sony.co.jp>

**SONY**

■事業内容：パソコン、タブレット、ポータブルオーディオ、ポータブルナビ、電子書籍の設計、企画、マーケティング等

■所在地：長野県安曇野市

■代表者：事業本部長 鈴木 国正



## 受賞企業コメント

ソニーは、2009年度に「商務流通審議官賞」を受賞しました。今回、さらに受賞できたことは、ユーザーの実使用に即してVAIO製品群の安全確保に取り組んでいる活動が評価されたことと理解します。2009年度の表彰時には、ソニー全体としての仕組み・システムが評価され、本年度は、VAIO&Mobile事業本部として応募し、個々のVAIO製品の安全確保に向けた具体的な取り組み内容が地道な活動として評価されたものと理解します。一例

として、もの造りの段階で進めている「危害想定」、各種評価に“可視性”、“網羅性”、“継続性”の視点でアプローチし、安心・安全な製品を提供するプロセスを再構築しました。また、事業本部全員を対象に「お客様の生の声」を聴く研修を行ってまいりました。これらの活動を通じ、製品安全の文化構築へ向けてさらなる一層の努力をしております。今回の受賞は今後の全社的なマイルストーンになると考えております。

## 受賞ポイント

### 1 ものづくりの意識改革、人材育成

事業本部全員を対象に、コールセンターに寄せられた「お客様の生の声」を体感する研修を実施。ユーザーの実際の使い方や感想・反応を知ることで、社員の安全意識を醸成。



指定課題モニタリングとディスカッション

### 2 ユーザーの使用環境等に即したリスクアセスメントの実施

R-Mapを活用し、リスクが低減しない阻害要因を“見える化”して、対策の充分性を客観的に評価。また、実際の使用に即した状態での「埃試験」「異常発熱試験」などの試験方法を独自に開発して安全設計の検証を実施。

### 3 製品を安心して使用してもらうための情報提供

製品に備わっている“自己診断ツール”の診断結果をもとに、品質確保上の重要事項について同社で収集するシステムを構築。市場におけるバッテリーや冷却ファンなどの異常状態をモニタリングし、事故の未然予防を図っている。

## 担当者のことば



地道な作業の連続でしたが、受賞により第三者にVAIOの取り組みの方向性が評価されたことが何よりの喜びです。この応募を通じ従来の活動に増して、「お客様にどんな危害を与えてしまうのだろう」、「お客様に依存しない安全性はなんだろう」と、お客様視点に立った製品の安全対策を客観的にみられるようになり、お客様視点と安全についての考えを深めることができました。寝ても覚めても安心・安全のことばかり考える日々で、二次審査の準備、現地調査応対ではメンバー一同完全燃焼でき本当に良かったと思います。今回の受賞を新たなスタートとしてお客様の視点を含めた“本質安全”を追求し、製品事故が起こらないように頑張りたいと思います。

# 商務流通審議官賞

大企業 製造事業者・輸入事業者部門

## TOTO株式会社

<http://www.toto.co.jp>

# TOTO

- 事業内容：住宅設備機器、新領域事業商品(環境建材、セラミック製品)の開発・製造
- 所在地：福岡県北九州市(本社)
- 設立：1917年 ■代表者：代表取締役社長執行役員 張本 邦雄
- 従業員数：24,159名[2011年3月現在、連結]



### 受賞企業コメント

TOTOは創業以来、「良品の供給」と「お客様の満足」を志し、「奉仕の精神」を貫き、社会の発展に寄与する製品を供給するよう努めてまいりました。「まいにち必ず使うもの」「みんなが必ず使うもの」を扱うTOTOは、ユニバーサルデザインの考え方を研究開発の最重要テーマのひとつに掲げてきました。具体的な取り組みとして、ユニバーサルデザイン研究所を設立し、商品開発者がお客様モニターの方々との対話や観察・検証を繰り返し、どんな方でもよ

り使いやすく快適で安全な商品づくりに取り組んできました。また、製品事故の未然防止に向けて、リスクマップ上に独自の達成目標領域を定め、開発・設計段階の安全化の思想・方向性を明確化し、安全性のレビューを実施する体制を構築しました。これらの取り組みが特に評価され、このたび「商務流通審議官賞」を受賞することができました。この受賞に甘んじることなく更なる向上を目指し、製品安全活動に取り組んでまいります。

### 受賞ポイント

#### 1 長年にわたるユニバーサルデザイン研究で得た知見の活用

1960年代から、すべての人が快適・安心に使える製品・空間の研究を継続して実施してきた中で蓄積した安全性に関するノウハウや知見を活用し、安全な製品を開発。



ユニバーサルデザイン研究所での安全性の確認

#### 2 事故の未然防止に向けた体制の強化

R-Map上に独自の達成目標領域を定めることにより、開発・設計段階における安全化の思想・方向性を明確化。また、各事業部門に安全推進責任者を設置し、社内の専門組織とともに安全性のレビューを実施する体制を構築。

#### 3 お客様の声を積極的に活用

お客様の生の声をデータベース化し、社員がいつでも閲覧できるネット環境を構築。お客様視点の製品の実現に向けて、社員意識の醸成を図っている。

### 担当者のことば

当社は過去にリコールを経験するなど、お客様に多大なご迷惑とご不安をおかけしてしまいました。その反省やお客様の声をどれだけきちんと捉えて、お客様にご安心いただける製品安全の取り組みができていたのかを客観的に審査いただきたいという思いから今回応募いたしました。この賞に応募するにあたり、改めて自社の製品安全活動について体系的に振り返り・整理するとてもいい機会となりました。TOTOの製品安全の取り組みは、まだまだ道半ばです。これからも、お客様の声に真摯に耳を傾け、TOTOグループ一丸となって、製品安全自主行動指針を愚直に推進し、安全と信頼を築き、毎日の生活の中でずっと安心を提供できる企業になるよう努力していきたいと思っております。



# 経済産業大臣賞

## 大企業 小売販売事業者部門 株式会社イトーヨーカ堂

http://www.itoyokado.co.jp/



- 事業内容：総合スーパー(GMS)・住居品・衣料品・食料品小売販売
- 所在地：東京都千代田区(本社)
- 設立：1920年(大正9年) ■代表者：代表取締役社長最高執行責任者(COO) 亀井 淳
- 従業員数：39,614名[2011年2月末現在、単体]



### 受賞企業コメント

イトーヨーカ堂は1920年に東京浅草に「羊華堂洋品店」として創業以来、一貫して「信頼される誠実な企業」を社是として掲げてまいりました。「より上質で豊かな生活提案」を目指し、グループ企業共々店舗づくりや商品、サービスの改革を進めております。お客様にご提供する商品は「安全・安心」であることが何よりも優先されなければなりません。その為に日々ご愛顧頂いているお客様にご満足頂ける「価値・品質」にこだわった商品の品揃えの実現が最大の責務と

考えております。この度、製品安全対策優良企業として栄えある賞を受賞することができましたが、様々な商品を販売する小売業において、製品安全を実現する為には全てのお取引先様のご協力無くして実現はできません。この度の賞の重さを各お取引先様と共に深く受け止め、また弊社グループ各社と共有し、お客様に安全で安心してご使用頂ける商品のご提供に向け、社員一同、更なる努力を続けてまいります。

### 受賞ポイント

#### 1 取引先を含めた製品安全文化の構築

自社の製品安全への取り組み、品質情報の共有を図る為、グループ会社や取引先を対象とした講習会やイベントを開催。



#### 2 プライベート・ブランド(PB)製品の安全性の確保

検査機関と連携して国内外の生産工場の監査を実施。改善要求事項のフォローを徹底し、工場のレベルアップ及び品質改善に努めている。また、製品の販売前に、第三者機関による品質検査、表示文書のチェックを実施。

#### 3 イトーヨーカ堂独自の品質基準の策定・運用

過去の事故・トラブルやお客様の要望などを踏まえ、製品群ごとに、公的基準をベースにした自社独自の品質基準を策定して運用。グループ会社でも同水準の安全性を確保する為、グループ会社間で自社の品質基準の共有を図っている。

### 担当者のことば



製品安全対策優良企業表彰制度へは、日々、私どもが小売業の立場で実施している品質管理手法、製品安全への取り組みの妥当性について、専門家の先生目でのどのように評価されるのか?との思いで応募させて頂きました。販売する様々なメーカーの商品や、弊社独自の開発商品(プライベート・ブランド)増加に対し、お客様から頂く「製品安全」へのご要望は日に日に高まっております。この度の受賞は私ども、製品安全と向き合う者には大変名誉であり、励みになると共に新たな課題も見えてまいりました。今回の賞に恥じる事無く「安全・安心」の実現に向けた品質管理、「製品安全文化の構築」に向け、全てのお取引先の皆様にもご協力を頂き、グループ各社にも拡大するよう、対応を進めてまいります。

商務流通審議官賞

大企業 小売販売事業者部門

## 株式会社ニトリホールディングス

<http://www.nitori.co.jp>

■事業内容：家具・インテリア用品の販売チェーン、トータルコーディネート販売、海外製造開発輸入推進

■所在地：東京都北区(本部) ■設立：1972年

■代表者：代表取締役社長 似鳥 昭雄 ■従業員数：18,189名[2011年9月現在、連結]

## 受賞企業コメント

私ども(株)ニトリホールディングスの安全・安心PDCAフローの多岐にわたる仕組み、活動が2007年より本格スタートしております。製造・物流・小売業という新業態での開発時点での商品技術評価、製造工場教育、指導そして販売後のサービスセンター設立など一歩一歩積み重ねてまいりました。

2011年度のニトリでのお買い上げいただいたお客様の総数が約5000万組となり、この数字こそがニトリの店舗がお客様にご支持

いただいた証といえるのでないでしょうか。2009年に消費者庁発足以来、消費者の製品安全への意識の高まりを受け、当社の社是の中の「私たちは、お客様へ品質が維持された商品をより安くお届けします」を実現すべく、今回の受賞をさらなる製品安全活動への活力として、全社一丸となり安全・安心への取り組みへまい進してまいります。「お、ねだん以上。ニトリ」は、価格/品質の両輪でお客様満足を実現してまいります。

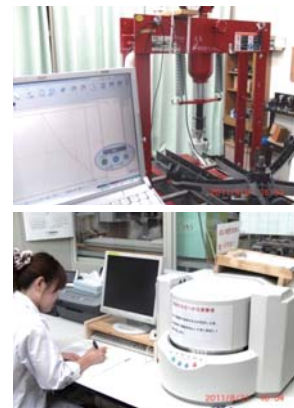
## 受賞ポイント

## 1 取り扱う製品の採用前における技術評価の徹底

取り扱う製品を採用する前に、安全・品質面の技術評価を実施。評価の結果、製品に問題がある場合は採用せず、また、改善要求の後にも再評価を行って、安全・品質に問題のある製品の事前確認を徹底。



技術評価会の実施



自社での試験・検査の実施

## 2 取引先工場の生産・品質管理体制の強化

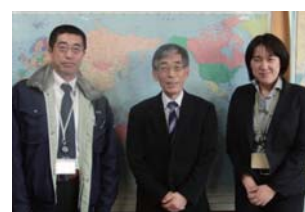
取引先を選定する際には、工場の生産・品質管理の姿勢及び遵法性などを事前に評価。取引開始後は、取引先に対して「現地確認、セミナー、講義、テスト」などを行って、生産・品質管理の体制の強化を図っている。

## 3 品質を評価できる技術者の育成

2007年度から、品質管理技術者の認定制度を運用し、品質技術の知識の向上を図っている。また、従業員の安全・品質に関する意識を改革すべく、様々な生産・品質管理の教育・研修を実施。

## 担当者のことば

我々が製品安全に対し取り組み始めて4年目となり、その全社体制が整ってまいりました。その成果を今回の受賞で認めていただきました。少しずつこの受賞の効果が社内に広がってきている実感があり、大変うれしく思っております。今後、時代の流れとともに新機能、新商品、新素材などが増加する傾向にあります。不具合商品の市場流出防止、お客様への安全・安心を求めてさらなる努力をしてまいります。製品安全対策優良企業表彰へ応募したことで、自社の取り組みを客観的に知ることができ、次ステップへの課題が明確になったことで自らの業務の社会(消費者)に対する責任の重さ、そして重要性を再認識しました。さらに全社を上げて品質の「ニトリブランド」構築へ向けて進んでまいります。



# 商務流通審議官賞

大企業 小売販売事業者部門

## 株式会社ビックカメラ

<http://www.biccamera.com>

# ビックカメラ

- 事業内容：カメラ、パソコン、家電製品、スポーツ用品等の販売
- 所在地：東京都豊島区(本社)
- 設立：1980年 ■代表者：代表取締役社長 宮嶋 宏幸
- 従業員数：5,827名[2011年8月現在、連結]



### 受賞企業コメント

ビックカメラは「より豊かな生活を提案する、進化し続けるこだわりの専門店の集合体」として、高性能かつ安価な製品の販売だけでなく、お客様に安全な製品をご提供することが当社に課された責務であると認識し活動してまいりました。販売した製品に不具合が確認された場合に、ポイントカード会員情報を利用してダイレクトメール(DM)を送信するだけでなく、店頭でのお会計の際にご購入履歴を元にDMをお渡しする「製品安全DM店頭お渡しサービス」を実

施しており、お客様のお手元に直接リコール情報をお届けするサービスとしてご評価を頂いております。また、公的な事故原因究明機関であるNITEとの製品安全協力協定の締結、製品仕入先の製品安全体制の確認、意見交換会の開催も着実に成果を出しております。今後もビックカメラは、「お客様第一主義」の実践として製品安全活動に積極的に取り組み、製品安全文化の醸成に貢献してまいります。

### 受賞ポイント

#### 1 リコール情報を消費者に届けるための工夫

ポイントカード会員の購入履歴情報を元に、リコール情報をDMで通知。さらに発煙・発火等重大な製品不具合を通知するDMについては、店頭でのお会計の際に改めてDMを手渡し、リコール情報が確実に届くよう工夫している。



製品安全DM店頭お渡しサービス

#### 2 仕入先の製品安全意識・対策の向上に向けた取り組み

仕入先との間で製品事故防止に関する覚書を締結するとともに、アンケート調査等を行って、仕入先の製品安全に対する取り組みの向上や意識啓発を実施。また、仕入先を集めた意見交換会を開催し、自社の活動への理解が得られるように努めている。



製品安全意見交換会の様子

#### 3 事故原因究明機関との連携による製品安全活動の推進

NITEと「製品安全活動の協力に関する協定」を締結。修理等の受付時に、製品事故の予兆とされる事象等をお客様に確認し、そこで得られた情報をNITEに報告して重大製品事故の未然防止に努めている。

### 担当者のことば



製品安全に関する考え方や社会的認識は日々変容し高まりを見せています。リコールは多種多様な製品におよび症状も様々です。企業は様々な問題に対応すべく、製品安全体制を構築し、お客様に安心して製品をご使用頂けるよう努めるべきであると考え、ビックカメラは当たり前のこととして製品安全に取り組んでまいりました。今回、日々変化する製品安全の情勢に対応できているか、第三者に公正に評価して頂きたく本表彰に申請いたしました。その結果「商務流通審議官賞」受賞という大変な評価を頂きましたが、同時に多くの課題も頂きました。お客様と直接対面する小売業として、製品安全に真剣に取り組むことは、最低限行うべき責務であると再認識し、今後の活動にあたりたいと考えております。



# 経済産業大臣賞

## 中小企業 製造事業者・輸入事業者部門 アキュフェーズ株式会社

http://www.accuphase.co.jp/



- 事業内容：高級民生用音響機器、業務用音響機器の開発・製造
- 所在地：神奈川県横浜市青葉区(本社)
- 設立：1972年6月1日 ■代表者：代表取締役社長 齋藤 重正
- 従業員数：75名[2011年10月現在、単体]

### 受賞企業コメント

弊社は1972年に創業した比較的若い会社です。創業に際して幾つかの約束事を決めてから事業を開始しており、その中の最も重要な項目が「製品安全の確立」でした。その解決策の第一歩として弊社が採用した方針は、基幹部品は定格を大幅に下回る使い方をし部品寿命を伸ばすこと、また選択基準でも可能な限り通信機器や測定器用として開発された高信頼性部品を採用する等でした。これらの実績をベースに保証期間も2年から3年へ、

2009年には一部の製品を除いて5年に延長しました。さらに、シリアル番号管理も徹底し、何かあった場合には直ちに皆様にお伝えできる体制も完成させております。今回、部品メーカー様も一体となって質向上に取り組んできた結果をご評価いただき、名誉ある「経済産業大臣賞」を受賞させて頂きました。お陰様で本年6月には創業40周年を迎えますが、益々責任の重大さを肝に銘じ、さらなる安全体制確立を推進してまいります。

### 受賞ポイント

#### 1 長年の製品安全活動に基づく長期保証の実現

設計段階から安全性を確認した製品開発(部品選定)を徹底。製品(部品)の改良や修理実績等のデータに基づき、無料保証期間を2年間(創業時より)から3年間(1999年より)、5年間(2009年より)へと段階的に延長。



5年間の長期保証



お客様カードを活用した無料保証登録

#### 2 製品開発・アフターサービスの実施

IEC規格などの国際規格等をベースとして、自社独自の基準を策定・運用。世界同一仕様の製品を製造し、「壊れにくいもの、壊れても直せるもの」という考えに基づく製品開発・アフターサービスを実施。

#### 3 製造から販売、購入までのトレーサビリティ確保

製造時に製品をシリアル番号で管理するとともに、部品情報や製品試験結果等の製造履歴を保有。また当該製品の販売先及び購入者情報、修理情報等を把握・管理し、リコール時にも素早い対応が可能。

### 担当者のことば

第1回は時期尚早とし見送り、その後の準備を経て今回の参加で最高位を得ることができたことは、当社の取り組みが評価されたことと外部へのアナウンスの機会ともなり、更に製品安全文化への一助をなし得たとも言える達成感があります。今回の受賞は当社の誇りでもありますが、同時に社会に対する約束と認識しますので、更なる製品安全である製品造りの企業を目指します。人々は音楽を愛します。この音楽を奏でるものにオーディオ機器がありますが、オーディオは聴く人の要求に限りなく応え音楽の癒しを与えてくれると信じていますが、聴く人に心ゆくまで音楽に没頭してもらうには、製品は安全で信頼のあることが最低必要条件です。長きにわたって安心して使われる製品造りをする企業を今後も追求していきます。



# 商務流通審議官賞

中小企業 製造事業者・輸入事業者部門

## 株式会社川口技研

<http://www.kawaguchigiken.co.jp>

## 川口技研

■事業内容：住宅関連金物（レバーハンドル、物干金物）および網戸、各種化成品等の製造・販売 ■所在地：埼玉県川口市（本社）  
■設立：1961年 ■代表者：代表取締役社長 納口 成一郎  
■従業員数：180名[2011年4月現在、単体]



### 受賞企業コメント

初めての応募で「平成23年度製品安全対策優良企業表彰」を受賞できたことは、お客様はじめ弊社に協力いただいている各社に感謝するとともに、大変光栄に感じています。弊社、創業以来、「敷居スベリ・スベラーズ」「OKアミド」に始まり、近年ホスクリーンの名前で販売している「物干金物」や「レバーハンドル」といった住宅関連の製品の製造・販売をしてまいりました。今まで、ISOの運用による品質（顧客満足）等の向上が取り組みの中心で

した。製品安全とリンクした活動もありましたが、特に意識していませんでした。そんな中、今回「製品開発における取り組み」や「外注先に関する取り組み」を評価していただき受賞となりました。また、本来の応募の目的である改善に向けた事項についても、貴重な指摘をいただくことができました。今後、これらの事項について、一つ一つ確実に改善を行い、更なる製品安全対策の向上を目指して活動していきたいと考えております。

### 受賞ポイント

#### 1 消費者の利用実態に合わせた製品の開発

公的な安全基準等がない製品に関して、実際の開発品を設置し、数十人に「可能な限りいじわる使用」をしてもらい、利用実態に合わせた試験基準・評価方法を独自に策定し、製品を開発。



社内に試験所を設け、独自の試験設備にて、耐久性能試験等を実施



ドアの開閉繰り返し試験の様子

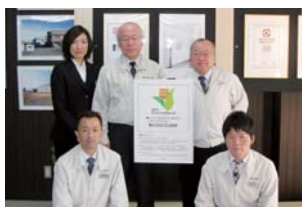
#### 2 独自のリスクチェックツールの運用による危険予測と問題の再発防止

企画・開発・設計段階において、要求品質、保証事項、過去の不具合・トラブル処置などを漏れなく確認するためのチェックシートを運用し、危険予測や問題の再発防止に努めている。

#### 3 外注先との情報共有

外注先で発生した問題に関する情報を全外注先に提供し、類似の問題の再発を未然に防止。

### 担当者のことば



今まで、弊社は、ISO9001、ISO14001等の運用を中心に、品質（顧客満足等）の向上・環境負荷の低減を中心に取り組んできました。そんな中、本制度の説明会に参加させていただく機会があり、企業として、製品安全対策に取り組むことの重要性を認識しました。社長・役員に相談したところ、受賞することは二の次で、今までの活動・取り組みを製品安全の視点で、第三者に評価してもらい、今後の新たな取り組み・改善すべき項目を見つけ出すように指示がありました。初めての応募で、エントリー～プレゼン～ヒアリングと慣れないことの連続でした。幸いにも受賞することができましたが、今後、今回の審査で、ご指摘いただいた事項を改善する活動を進め、製品安全対策のより一層の向上に努めていきたいと考えております。

## 商務流通審議官賞

中小企業 製造事業者・輸入事業者部門

### 株式会社丸五

http://www.marugo.ne.jp

## ⑤ 株式会社丸五

- 事業内容：靴(安全シューズ、地下足袋、作業靴、長靴)、手袋の開発・製造
- 所在地：岡山県倉敷市(本社)
- 設立：1919年 ■代表者：代表取締役社長 湛増 泰太郎
- 従業員数：141名[2011年9月現在、単体]



### 受賞企業コメント

当社は創業90年余りの歴史を通して、作業用シューズ・手袋等、労働者の安全・安心を支える製品の供給に注力してまいりました。特に近年では「様々な生活シーンに“安全と安心”をお届けする」をモットーに企業活動を行っております。まさに製品安全対策への取り組み姿勢を最も問われる製品群を提供している企業としまして、今回の受賞は当社の企業方針・活動をあらためて高く評価していただいた結果として大変光栄に思っております。市場・顧客から

の製品への「品質・コスト・安定供給」の要望は年々高まり、各種製造業を取り巻く社会環境はますます厳しくなっております。この環境下で、供給者として特に品質・製品安全につき、より一層のカイゼン努力を積み重ねていくことが最も重要な使命であると考えております。今回の受賞を励みに、全社一丸となって“安全と安心”を様々な生活シーンにお届けし続ける企業として、さらに精進を続けてまいります。

### 受賞ポイント

#### 1 商品展示説明による 安全性の訴求

試験装置を使った安全性試験の実演や体験ツール(機材)を紹介する商品展示説明会を開催するなど、靴の安全性能を正しく理解してもらうための情報提供に努めている。具体的には、言葉や紙の資料等での説明に比べ、実際に目にして・体感して、といったより効果的・印象的な”視覚や実体験に訴える”安全性に関する重要事項の訴求活動を、営業部門・開発部門が一体となって展開している。



「つま先芯の保護性能」「靴底の滑りにくさ」「釘等に対する靴底の耐踏抜き性能」等の安全機能・性能を紹介

#### 2 現場訪問による原因分析・ 製品改善の実施

製品に問題が発生した場合、現場を訪問して製品の使用環境や使用方法の調査を徹底することで、正確に原因を分析・把握し、製品の改善に繋げている。万全を期した生産活動においても、不具合を完全にゼロにすることは極めて困難であるが、お客様の満足度を限りなく100%に近づけるため、不具合情報に対して全社をあげて迅速かつ適切・真摯に取り組んでいる。

### 担当者のことば

2010年に日本ゴム履物協会からの案内をきっかけに本制度に応募させて頂きましたが、正直「我社の製品安全・品質維持改善活動で通用するのだろうか」と不安を抱えた挑戦でした。残念ながら初挑戦はプレゼン審査で脱落しましたが、審査員の皆様から良い点・改善すべき点等の貴重なアドバイスも頂け、何とかもう一歩でも前に進みたい、の思いで2011年も挑戦させて頂きました。御来社頂いた審査員の先生には「これをプレゼンで見たかった」と、担当者としては少し悔しいものの現場のナマの取り組みを高く評価頂け、結果はともかく再挑戦して良かったと素直に感じていたところ、何と結果が商務流通審議官賞を頂き、関係者一同喜びの思い以上に、今後この受賞に恥じない更なる製品安全対策優良企業を目指す所存です。



# 優良賞

## 中小企業 製造事業者・輸入事業者部門 バッグワークス株式会社

http://www.bagworks.co.jp



- 事業内容：鞆、袋物類の製造および販売
- 所在地：兵庫県豊岡市
- 設立：1956年 ■代表者：代表取締役社長 高島 茂広
- 従業員数：7名[2011年10月現在]



### 受賞企業コメント

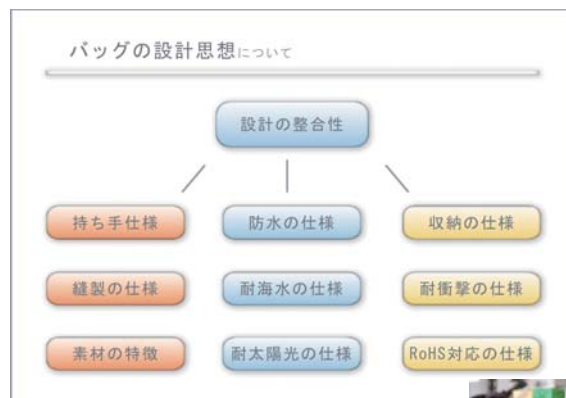
私たちは、業務で使われる専用のバッグを受注生産しています。お客様は、業務用カバンの開発・生産に関しては初めてという人がほとんどです。バッグについても前例や生産数が少ないので、既知の危険事実やテストデータが少ないです。お客様の要望を満たすことは必要条件で、それ以外に鞆生産のプロとしてあらゆる環境・条件に耐える製品設計をすることが大切だと考えています。バッグワークスでは、「鞆の設計思想」として独自

に9項目の仕様基準を策定し、設計の整合性を確保しています。新製品の開発時には、お客様との交渉記録や、素材試験結果などを全て記録、管理できるように「プロジェクト企画書」を発行します。そのファイルには試作時の仕様変更の経緯や、本番生産への仕様決定の経緯を見ることができます。今まで世の中になかった新しいバッグの誕生経緯を記録することで、生産後に問題が起こった場合に原因の検証が容易になると考えています。

### 受賞ポイント

#### 1 独自の設計思想に基づく製品設計

『バッグの設計思想』として、独自に9項目の仕様基準を策定し、設計の整合性を確保。また、お客様の要望を元に、使い方を想定した製品設計を実施。



「バッグの設計思想」

#### 2 全生産品の履歴管理の実施

新製品の開発時には、お客様の要望をしっかりと確認するとともに、素材試験結果などを全て「プロジェクト企画書」に記録し管理。また、全ての生産品の製造や検査履歴を記録し管理。



作業風景

### 担当者のことば



私たちの日頃の企業活動で受賞できたことは、本当にうれしかったです。しかし、二次審査で、「鞆における製品安全とは、どういうことでしょうか?」と質問され、明確に答えられなかったことが心に残りました。その後、その質問の答えを考えていました。私たちはメーカーですから、まず安全な製品を作ることが第一です。その始まりは、設計です。そして、どんな思想をもって鞆を設計するのが大切だと思います。そこから全ての生産・販売・検証が続いていきます。新製品の誕生を大切に、お客様の使用にまで責任をもつ、終わりの無い努力ということになるのでしょうか。今回、応募してはっきり自覚できたことは、「当社の鞆における製品安全とは、独自の鞆設計思想でお客様の業務の遂行を守る」ことです。

## 経済産業大臣賞

### 中小企業 小売販売事業者部門 びんず株式会社

http://www.panabeans.com



パナびんず・たかはた

- 事業内容：家庭用電化製品の販売、修理、サービス全般
- 所在地：兵庫県西宮市
- 設立：1993年 ■代表者：代表取締役社長 高畑 俊一
- 従業員数：5名[2011年10月現在]



### 受賞企業コメント

我が社はパナソニック製品を中心に、販売・施工・サービスを行う「街の電気屋さん」です。前身の会社から創業50年以上、地域に密着した職務を行い、地元の消費者の皆さんに対し、安心・安全に電化製品をご使用いただくことに注力して参りました。「物販小売業」というよりも「お客様のお困り解決業」と自覚し、きめ細かい訪問サービスを展開しています。分家したグループ店（高栄会）と共々その精神を共有し、毎月の責任者会議で情報の共有化を

図っています。お客様に「地元で一番親切で信頼できる電気屋さん」と評価されることが一番の喜びです。びんずという社名はBeans。即ち豆のことであり、マメマメしく活動する気持ちを表し、コーポレートアイデンティティも<sup>まやえんどう</sup>莢豌豆の中に、お客様、取引先メーカー、我が社スタッフが仲良く過ごしている姿を表しています。これからもこの精神を忘れずに、地域で一番頼りになる電気屋さんを目指して活動したいと考えております。

### 受賞ポイント

#### 1 細やかな アフターサービスの実施

商品は必ず自社の社員がお客様宅へお届けし、その後の訪問活動では、お客様が商品を誤った使い方をしていないか、困っていることはないか確認するなど、細やかなアフターサービスを実施。



地域密着した電気専門店ならではの丁寧な設置工事風景

#### 2 メーカー等と連携して 製品の不具合に係る原因分析を実施

製品に不具合等が発生し、再発や拡大の恐れがある場合、メーカーの責任者やサービス会社の責任者と共同で不具合の原因分析を実施し、対応策を検討。

#### 3 リコール時の即時対応

メーカーからリコール情報が入った場合、自社の販売データベース（25年分）からお客様情報を抽出し、即日お客様に電話で情報提供を行うとともに、お客様宅を訪問して事故の未然防止に努めている。

### 担当者のことば

応募締切前日の8月2日のメーカー責任者懇談会の席でこの表彰制度があることを知り、その夜に大急ぎでアピールポイントを書きあげ、滑り込みで提出しました。そのきっかけは第3回の同部門の大臣賞に「株式会社ヤマグチ」様を受賞されていたことで、尊敬する先輩経営者に続けたいという気持ちでした。ただ、二次・三次の審査に臨むことは、少ない人員で職務をこなす中小企業にとっては正直大変なことでした。しかし受賞後、社員が「うちは大臣賞受賞企業や!」とプライドを持って、以前にも増して積極的に職務に臨むようになり、またお客様にチランを作って受賞をお知らせしたところ、わが事のように受賞を喜んでいただけることも多く、幸せな気持ちになりました。（写真は創業者・社員及びパナソニック関連会社の皆様です）



## 受賞記念イベント

2011年11月24日(木)に渋谷区文化総合センター大和田さくらホールにて「第6回製品安全総点検セミナー」が開催されました。その中で、「第5回製品安全対策優良企業表彰」の表彰式が行われました。

表彰式では、牧野経済産業副大臣より経済産業大臣賞受賞企業に表彰状と記念盾が授与されました。続いて豊永商務流通審議官より商務流通審議官賞受賞企業に表彰状が授与されました。また、向殿審査委員長より優良賞受賞企業に表彰状が授与されました。



## 応募企業アンケート結果

本年度のWEBエントリー・応募企業を対象にアンケートを行った結果、20社よりご回答いただきました。ここではアンケート結果の一部をご紹介しますので、今後応募を検討される際のご参考になさってください。

### Q1. 今回応募した理由・動機は何でしょうか? [複数選択]

- A. 自社の製品安全対策を客観的に評価したい：12
- 社内での製品安全に対する意識を向上させたい：12
- 自社の製品安全対策を向上させたい：10
- 自社の製品安全対策を対外的にアピールしたい：8

### Q2. 一次審査における資料作成および二次審査におけるプレゼンテーション資料作成、ヒアリング準備等について、ご感想をお聞かせください [自由記述]

- A. ●応募した部署全員が準備(資料作成等)に参加したことで、各メンバーの安全活動に対する取り組み意識が向上した。
- 自社の取り組みを各視点ごとに整理することで、自社全体の製品安全活動をより客観的・具体的に把握することができた。
- 資料を作成していく中で、自社の取り組みの課題・問題点を明確にすることができた。
- 今回準備した資料を、社内の製品安全活動の学習ツールとして活用することができた。

### Q3. 審査委員のコメント等をまとめた「審査結果レポート」について、ご感想をお聞かせください [自由記述]

- A. ●さらなる取り組みについての適切なコメントがあり、今後の課題が明確になった。
- 良かった点や今後取り組んだほうが良い点のどちらも具体的に記載頂き、社内での通知・取り組みにつなげやすく、とても役に立った。
- 自覚している課題を客観的に指摘していただいたので、社内での優先順位をあげて検討しやすくなった。

※詳細は、製品安全対策優良企業表彰ホームページをご覧ください。

<http://www.ps-award.jp>

# 【過去受賞企業紹介】

## 第1回製品安全対策優良企業表彰 受賞企業

### ■大企業 製造事業者・輸入事業者部門

金賞 日立アプライアンス株式会社

銀賞 株式会社アシックス

銅賞 セイコーエプソン株式会社

### ■大企業 小売販売事業者部門

金賞 株式会社ビックカメラ

銀賞 イオン株式会社

### ■中小企業 製造事業者・輸入事業者部門

金賞 大塚製靴株式会社

## 第2回製品安全対策優良企業表彰 受賞企業

### ■大企業 製造事業者・輸入事業者部門

金賞 株式会社バンダイ

銀賞 富士ゼロックス株式会社

銅賞 三菱電機株式会社

特別賞 IDEC 株式会社

### ■大企業 小売販売事業者部門

金賞 上新電機株式会社

銀賞 株式会社ニトリ

### ■中小企業 製造事業者・輸入事業者部門

銀賞 株式会社ハート

銅賞 日本宅配システム株式会社

## 第3回製品安全対策優良企業表彰 受賞企業

### ■大企業 製造事業者・輸入事業者部門

経済産業大臣賞 東芝テック株式会社

商務流通審議官賞 株式会社アシックス

商務流通審議官賞 ソニー株式会社

優良賞 株式会社クレハ

### ■大企業 小売販売事業者部門

経済産業大臣賞 株式会社エディオン

優良賞 株式会社良品計画

### ■中小企業 製造事業者・輸入事業者部門

経済産業大臣賞 フットマーク株式会社

商務流通審議官賞 株式会社アベックス

優良賞 有限会社坂本石灰工業所

優良賞 日本フィルム株式会社

### ■中小企業 小売販売事業者部門

経済産業大臣賞 株式会社ヤマグチ(でんかのヤマグチ)

商務流通審議官賞 株式会社タケシゲ(サウンドサカタ)

商務流通審議官賞 有限会社永谷テレビサービス(ライフページ・ナガタニ)

優良賞 株式会社ダイプロ

優良賞 株式会社パナ・トップ

## 第4回製品安全対策優良企業表彰 受賞企業

### ■大企業 製造事業者・輸入事業者部門

経済産業大臣賞 YKK AP 株式会社

商務流通審議官賞 株式会社INAX

### ■大企業 小売販売事業者部門

経済産業大臣賞 上新電機株式会社

商務流通審議官賞 株式会社ニッセン

商務流通審議官賞 株式会社ベネッセコーポレーション

### ■中小企業 製造事業者・輸入事業者部門

経済産業大臣賞 株式会社相田合同工場

商務流通審議官賞 エビス株式会社

### ■中小企業 小売販売事業者部門

経済産業大臣賞 奈良日化サービス株式会社

商務流通審議官賞 有限会社池田電気

商務流通審議官賞 有限会社ナルデン

### ■団体部門

団体特別賞 あんしん高度化ガス機器普及開発研究会

製品安全対策優良企業表彰ホームページ

<http://www.ps-award.jp>

■製品安全対策優良企業表彰事務局 Tel:03-5288-6583

リサイクル適性 

この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。